

製品名: FOXO3A (リン酸化 Ser253) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21512**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	ホスホ
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:71kD;Observed MW:97kD

抗原情報

遺伝子名	FOXO3
別名	FOXO3;FKHRL1;FOXO3A;Forkhead box protein O3;AF6q21 protein;Forkhead in rhabdomyosarcoma-like 1
遺伝子 ID	2309.0
SwissProt ID	O43524
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

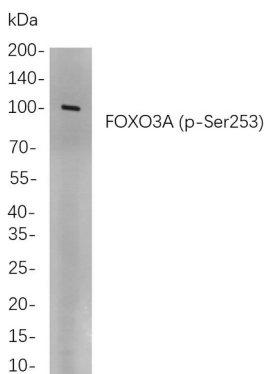
背景

細胞局在: 細胞質。この遺伝子は、明確なフォークヘッドドメインを特徴とするフォークヘッド転写因子ファミリーに属します。こ

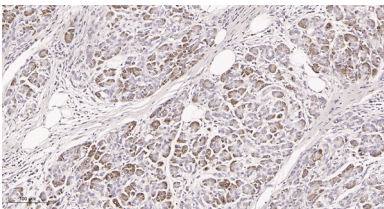
の遺伝子は、細胞死に必要な遺伝子の発現を介してアポトーシスの誘発因子として機能すると考えられます。この遺伝子と MLL 遺伝子の転座は、二次性急性白血病と関連しています。同じタンパク質をコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

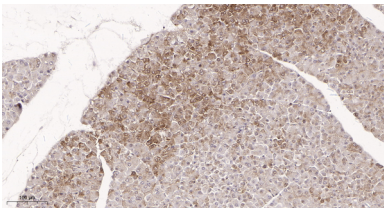
画像データ



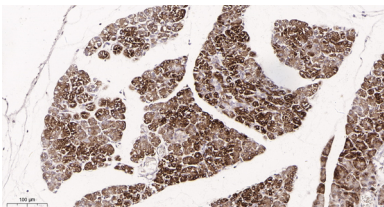
HEK293 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。FOXO3A (p-Ser253) ウサギ mAb を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト脾臓組織の免疫組織化学分析。1、FOXO3A (リン酸化 Ser253) ウサギモノクローナル抗体を 1: 200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1: 200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋マウス脾臓組織の免疫組織化学分析。1、FOXO3A (リン酸化 Ser253) ウサギモノクローナル抗体を 1: 200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1: 200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ラット脾臓組織の免疫組織化学分析。1、FOXO3A (リン酸化 Ser253) ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。